



校訓 自主・協同・努力

9年間で目指す子ども像 **やさしく たくましく 生きる子**

学校教育目標 **やさしく たくましく**

重点目標 **主体的に行動しよう**

主体的に行動する

学ぶことを楽しむ

他者や自分を大切にする

- 自分らしい「やさしさやたくましさ」を築いていく生徒
- 主体的に自分の考えと仲間の思いを交流し、切磋琢磨しながら成長できる生徒

- 肯定的に聴き合うことを大切に、粘り強く学び続ける生徒
- 課題を解決できた喜びや楽しさを実感できる生徒

- 仲間や自分をかけがえのない存在と感じられる生徒
- 違いを認めて他者と温かな関係を築き、前進する生徒

- 生徒会や学年委員会を中心とし、生徒主体の行事を企画・運営する。
- 全校討論会等、生徒全員で議論し合い、学年を超えて意見を聴き合う活動を通して絆を深める。
- 教育課程を創意工夫し、縦割り活動の充実を図る。
- 主体的に委員会活動に参加し、他(他者、学校、地域)のために貢献しようとする態度を育む。
- コミュニティスクール、小中一貫教育を計画的、系統的に推進する。CSDを中心に地域との連携・協体制を築き、生徒が地域で活躍できる機会を創る。

- 3校による研修体制を充実し、子どものギャップを軽減して円滑な学校運営を行うために、計画的・系統的に推進する。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業実践を目指し、研修を充実させる。
- 聴き合い、学び合うための対話や協働が生まれる質の高い「学習課題」や「発問」を研究する。
- 生徒から発せられた「？」の解決に向け、小グループ学習等、他者と探究する学習形態や場を創る。
- タブレット、ICT機器を積極的、効果的に活用する。
- 未来ノートを活用することで計画的な家庭学習を促す。

- 発達支持的な生徒指導を実践する。変化や違いを受入れ、誰もが笑顔で挑戦し、他者と楽しさや喜びを分かち合う活動を推進する。
- 様々な教育課題に対して、組織で迅速、丁寧に対応する。
- 水面下の生徒理解に努め、声に出せない思いを汲む。決して見離さず、安心できる居場所を創る。
- いつでも、相手に伝わる爽やかな挨拶と明るい返事を励行する。
- 温かな聴き方と相手に伝わる話し方等、適切なソーシャルスキルを身に付け、実践する。
- メンタルチェックシートや教育相談等を計画的に実施し、生徒の現状を組織で把握し適切に速やかに対応する。

- ◎「やさしく、たくましく生きる」を意識して生活している生徒 95%
- ◎仲間と協力しながら、主体的に行動しようとしている生徒 95%
- ◎学校行事や生徒会活動に、積極的に取り組む生徒 90%
- ◎地域と協力して活動したり、地域の活動に参加したりする生徒 80%

- ◎授業を通して、学ぶことを楽しめている生徒 90%
- ◎タブレットを、積極的にかつ有効に活用している生徒 95%
- ◎未来ノートなど、計画的に家庭学習をしている生徒 80%

- ◎自分から相手に伝わる挨拶ができる生徒 95%
- ◎学校が楽しいと思う生徒 95%
- ◎友達と仲良く学校生活が送れている生徒 95%
- ◎学校のことや悩み事を相談できる友達がいる生徒 95%
- ◎学校のことや悩み事を相談できる教職員がいる生徒 95%

目指す教師像

- ・教育公務員として高い倫理観や使命感を持ち、一層の専門性や職人性を磨くために学び続ける。
- ・子どもの安全・安心を第一に考え、適切に行動する。
- ・保護者、地域に対して誠実に接し、その思いや期待を受け止めて子どもの資質・能力を伸ばす。
- ・チーム学校の一員として、対話や協働を通じて創造していく楽しさや喜びを共有できる。

地域に開かれた学校として

- ・吉永第一小学校、原田小学校、吉原第三中学校3校における小中一貫教育の推進
- ・「地域と共にある学校」を目指して学校運営協議会を充実させ、コミュニティスクールの推進を図る。
- ・学校だよりやメール等で、具体的な情報を発信する。
- ・計画的に学校公開日等を位置付ける。

